

日特建設株式会社

本店
〒103-0004 東京都中央区東日本橋3-10-6
TEL.03(5645)5050(大代表) FAX.03(5645)5051

札幌支店

〒004-0041 札幌市厚別区大谷地東4-2-20 1F
TEL. 011(801)3611(代) FAX. 011(801)3633

旭川営業所	TEL.0166(34)1204
函館営業所	TEL.0138(35)7010
道東営業所	TEL.0155(24)5600

東北支店

〒982-0036 仙台市太白区富沢南1-18-8
TEL. 022(243)4439(代) FAX. 022(243)4438

青森営業所	TEL.017(773)7275
盛岡営業所	TEL.019(663)6100
三陸出張所	TEL.0193(27)8157
秋田営業所	TEL.018(863)3035
山形営業所	TEL.023(641)5988
福島営業所	TEL.024(536)1800

東京支店

〒103-0004 東京都中央区東日本橋3-10-6 2F
TEL. 03(5645)5100(代) FAX. 03(5645)5107

長野営業所	TEL.026(228)6761
群馬営業所	TEL.027(253)2305
宇都宮営業所	TEL.028(637)3567
水戸営業所	TEL.029(246)2700
埼玉営業所	TEL.048(647)6981
千葉営業所	TEL.043(225)8023
横浜営業所	TEL.045(450)5553

北陸支店

〒950-0864 新潟市東区紫竹5-26-1
TEL. 025(241)2234(代) FAX. 025(241)2229

佐渡営業所	TEL.0259(55)2332
上越営業所	TEL.0255(44)4750
富山営業所	TEL.076(452)2766
金沢営業所	TEL.076(240)0111
福井営業所	TEL.0776(38)6499

名古屋支店

〒460-0008 名古屋市中区栄1-16-6 8F
TEL. 052(202)3211(代) FAX. 052(202)3212

岐阜営業所	TEL.058(275)0206
静岡営業所	TEL.054(202)2090
三重営業所	TEL.059(225)6575

大阪支店

〒541-0048 大阪市中央区瓦町2-2-7 10F
TEL. 06(6232)2109(代) FAX. 06(6232)2108

京滋営業所	TEL.075(646)5890
神戸営業所	TEL.078(577)2570
奈良営業所	TEL.0747(22)5571
和歌山出張所	TEL.0739(23)3110
高松営業所	TEL.087(840)4151
松山営業所	TEL.089(946)0771
高知営業所	TEL.088(861)4171

広島支店

〒730-0803 広島市中区広瀬北町3-11 9F
TEL. 082(231)2109(代) FAX. 082(231)2310

鳥取営業所	TEL.0857(39)8050
松江営業所	TEL.0852(21)7317
岡山営業所	TEL.086(226)1429
山口営業所	TEL.0839(25)4258

九州支店

〒812-0027 福岡市博多区下川端町1-3
TEL. 092(271)6461(代) FAX. 092(271)6482

佐賀営業所	TEL.0952(37)6912
長崎営業所	TEL.0957(49)9320
熊本営業所	TEL.096(382)1639
大分営業所	TEL.097(552)4222
宮崎営業所	TEL.0985(23)1406
鹿児島営業所	TEL.099(227)0901
沖縄営業所	TEL.098(861)0739

直轄グラウト部

〒103-0004 東京都中央区東日本橋3-10-6 2F
TEL. 03(5645)5111(代) FAX. 03(5645)5112

ジャカルタ駐在員事務所(インドネシア共和国)

Epicentrum Walk Lantai 5 Unit B515
Jl. HR Rasuna Said, Kuningan, Jakarta 12940, Indonesia
TEL. 62-21-5610-0988 FAX.62-21-2994-1991

お問い合わせ 本店技術本部、事業本部、または最寄りの支店、営業所へお問い合わせください。

〒103-0004 東京都中央区東日本橋3-10-6 5F

技術本部 TEL:03-5645-5115 FAX:03-5645-5113

事業本部 TEL:03-5645-5060 FAX:03-5645-5066



NITTOC

NITTOC

薬液注入工法施工管理のオートメーショントータルシステム



スリーPオクト®

Auto control of performance unit system

特許取得済



E-mail mag@nittoc.co.jp URL http://www.nittoc.co.jp

2015.12

スリーPオクトの取扱注意事項

●スリーPオクトの取扱に際しては、スリーPオクト資料等をご確認ください。●使用材料および資機材清掃等で発生した水の廃棄については、必ず関係法規に従ってください。●ここに記載された事項は、標準的な試験法に準拠した弊社の実験データに基づくものですが、多岐にわたる条件下での実際の現場結果を確実に保証するものではありません。●商品改良のため、予告なく仕様の一部を変更する場合がありますので、ご了承ください。



薬液注入工法施工管理のオートメーションータルシステム

スリーPオクト®

Auto control of performance unit system

薬液注入工法は、「構造物の大深度化」や「地盤の変状の抑制」といった難易度の高い施工方法に伴い、高度な施工管理が必要となってきています。

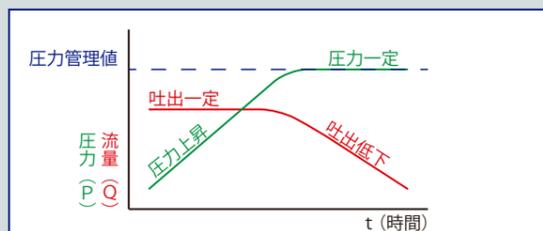
そこで日特建設は、迅速に且つ正確に対応するべく薬液注入工法の施工管理および流量・圧力制御を自動で行える「スリーPオクト」を開発しました。

スリーPオクトの8つの特徴

①注入ポイント毎に圧力管理注入が可能

上限圧力を設定することにより、注入時に圧力が上昇しても、吐出量を自動で低減するため、それ以上圧力があがりません。

圧力・吐出量は各々のポイント毎に個別に任意に設定出来ます。



④ターミナルPCにて集中管理

最大8ポイントの積算注入量、吐出量および注入圧力をターミナルPCにて集中管理します。



⑤1台のポンプで8ポイント施工が可能

1台のポンプからユニットにて各ポイントに分岐して注入できます。



②現場でプラント操作が可能

無線施工端末を使用することにより、現場にてグラウトポンプの操作が可能です。



⑥コンパクトなプラント

従来工法に比べ、使用機械が少ないためプラントがコンパクトになります。

流量計	分岐システム
グラウトポンプ	グラウトポンプ
グラウトミキサ	グラウトミキサ
【従来プラント】 流量計×8台 グラウトポンプ×8	【スリーPオクトプラント】 分岐システム+流量計×1台 グラウトポンプ×1台

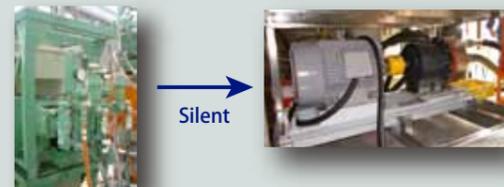
⑦地盤の変位を抑制 (OPTION)

任意の測点の地盤変状を計測し、該当する施工箇所の各々のポイントの吐出量を調整できます。

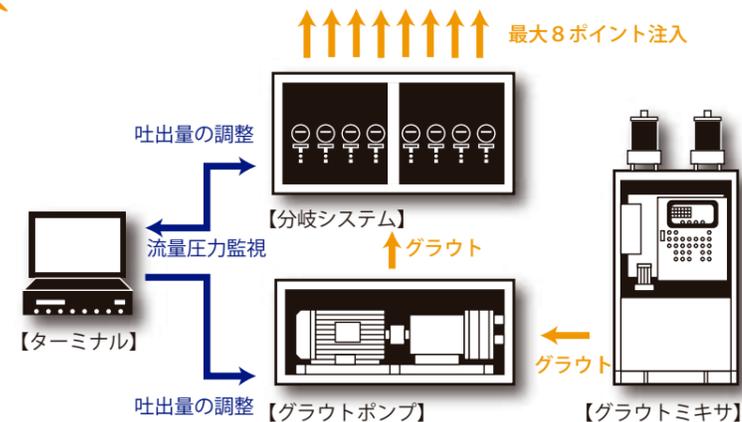


⑧特殊ポンプにより低騒音

特殊ポンプを使用することにより、従来使用していたポンプよりも低騒音にて施工出来ます。



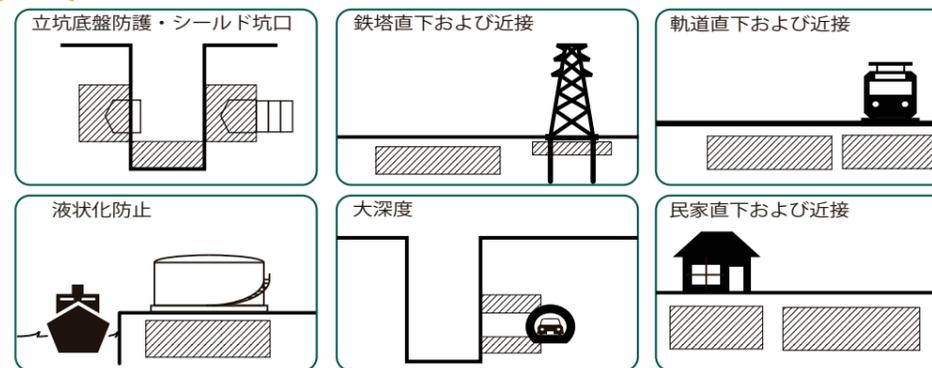
概要



適用工法

- 二重管ダブルパッカ工法
- エキスパッカ-N工法
- Newスリーブ注入工法

適用事例



施工事例

■某民間施設内道路液状化防止工事

工事場所	神奈川県
改良工法	エキスパッカ-N工法
施工数量	395 k ℓ
	(パーマロックASFII- δ)
set数	6 set

